

Booklet for Better House & Life.

TRUNK

Take Free.

Winter / 2023



特集1:「上内田 WeekEnders」始動!

特集2:「あの家」のその後。

[トランク] より良い住まいと暮らしのためのブックレット_Vol.7

F-BASE
暮らし2.0



掛川の街を 盛り上げる人たち

No.3

しんむら こういち

榛村 航一さん

(掛川市森林組合 代表理事組合長)



こちらの記事は
ホームページにも掲載中



「掛川の街を元気にしたい!」・・・この目標をエフ・ベースとともに目指す地域の“仲間たち”を紹介させていただく「掛川の街を盛り上げる人たち」。第3回目は、森林所有者と協同し森林を適切に管理・経営するための協同組合である、掛川市森林組合の代表理事組合長である榛村航一さんに、エフ・ベースの新しい拠点「上内田 BASE」にてお話を伺いました。

—— 榛村さんが代表をされている掛川市森林組合のお仕事内容を教えてください。

森林所有者が自分だけで森林の整備をするというのは結構ハードルが高い作業なので、サポートが必要です。具体的にいうと、間伐や伐採、育林などの作業を山主の方と一緒に計画を立てて実行していきます。この仕事の特徴は仕事のスパンがかなり長期に渡ることです。例えば農協さんがサポートする農業だと春に植えて秋に

収穫という風に1年周期の仕事だし、漁協さんと漁業は魚を捕ったらすぐにそれが商品になる。でも林業は植えてから主伐まで最低50年以上かかります。そういう意味で少しいメージがしづらい。だから林業の意義とか森林保全の大切さを一般の方にイメージしてもらえるようなイベントや情報発信にも力を入れています。

—— EMTB(電動アシスト付きマウンテンバイク)で林道を走る「掛川フォレストツアー」にも力を入れておられますね。

これまで12回ほどやっていますが、普段は入れない山道にEMTBで入ってもらって林業を肌で感じられるのですぐに予約が一杯になるくらい人気のツアーです。参加されるのは、インスタグラムなどのSNSで知った県内外の自転車好きの人が多くですね。こうしてその土地の生業を楽しみながら深く知ることが出来る新しい森林空間の利用はこれからも力を入れていきたいと思っています。

—— 林業というと、2021年はウッドショックが起き、木材の価格がとてもし上がりましたが、影響はありましたか？

それは当然ありました。海外からの木材輸入量の減少に伴う木材の価格高騰がきっかけですが、外国材に合わせたかなり安い価格で取引されていた国産材の価値が見直された

ことは森林組合にとってはいいことだったとも言えます。これをきっかけに、消費者の方にも自分の使っている木材がどこからきているかまで気にしてもらえたら嬉しいですね。例えば家の材料などは、やはりその土地の気候で育った地元の材料を使うのが理にかなっていると思います。

—— そういえばこれから入っていただく「サムライサウナ」にも掛川の杉材が使われているんですね。

そう。エフ・ベースさんが「サムライサウナ」を始めるということで、掛川材を手配しています。家もサウナも、つくるときは、地元の産業を元気にしていくという意味でも、皆さん、なるべく地元の材料でエフ・ベースさんのような地元の工務店に建ててもらって「地材地建」でいきましょう!



KAMIUCHIDA WeekEnders

特集 1

「上内田 WeekEnders」始動！

Start your weekend fun at Kamiuchida!

私たちエフ・ベースは、地域工務店という立場を生かしながら、掛川の地を盛り上げるためにできることはないかと考え、活動を続けてきました。

そんな中で、掛川市上内田で見つけた山付きの古い家を購入し、古民家リノベーションのモデルハウスとして利用しつつ、地域の人達が集まって交流を深めるための拠点に出来たらというアイデアが浮かんできました。

そして、この場所を中心にこれから作り上げていくコミュニティを、「上内田 WeekEnders」と名付けました。

この秋、「上内田 WeekEnders」が、ゆっくりと始動しています！

weekender / ウィークエンダーとは
「週末を平日とは別の特定の場所で
過ごす人」という意味。

P4 ~ P7

photo: KENICHIRO KAWABATA,
ISAO MARUYAMA, CHISATO SUZUKI

text: YUSUKE KUBOMI



「上内田 BASE」は地元の学生たちとの交流の場としても活用されている。
この日は静岡理科大学の田井幹夫研究室の皆さんが宿泊し、夜空の下での授業も行われた。



敷地の整備作業で汗を流した後、サウナ・水風呂・外気浴でくつろぐ男性陣

地元の人が集い、活動をともにする場を。

これまでエフ・ベース代表の丸山は、地元を盛り上げるべく、空き家問題の解決から地域活性化を目指すNPO「かけがわランド・バンク」の運営を通して、掛川駅～掛川城の周辺に地元材を利用したベンチや出店用屋台を設置し、歩いて楽しいエリアにしていこうという試み「かけがわストリートテラス」などに関わってきた。

そんな中で出会った、掛川市の上内田という場所にある山林付きの古民家物件。これまでに関係が生まれた地域の人たちと一緒に、ここでサウナでくつろいだり、



11/12（土）の「上内田 WeekEnders」に集まった面々



敷地内の竹を切る作業で汗を流す

マウンテンバイクで遊んだり、モノづくりのワークショップをやったりと、色んなことを楽しむ拠点にできるのでは・・・とピンときた丸山は、この古民家を改修して、古民家リノベーションのモデルハウスとして利用しつつ、コミュニティを生み出す場所にしようと考えた。

そんなこの場所につけた名前は「上内田 BASE」。そして、これからこの場所で作っていくコミュニティを「上内田 WeekEnders」と名付けた。この上内田 BASE が、週末を楽しむ人（＝ウィークエンダーズ）が集まる場所になって欲しいという想



ドラム缶の水風呂



作業の後のサウナは最高！



夜はこんな感じで盛り上がりします

いが込められたネーミングだ。

古民家のリノベーションはこれからゆっくりと行っていく予定だが、「上内田 WeekEnders」の集いはすでに11/12（土）に第1回目を開催。

エフ・ベースに関わりのある人達を招き、前日に宿泊して野外での授業を行っていた静岡理科大学・田井研究室の学生達にも参加してもらって、敷地内の草刈りや竹を切るなどの整地作業で汗を流し、お昼を食べた後、希望者で先日設置した「サマライサウナ」やテントサウナを楽しんだ。

イベントでは、幅広い年代の異業種の人達が集い、会話

をしながら一緒に作業をすることで、清々しい笑顔があちこちで見られたのが印象的だった。コロナ禍以降、人と人が体験を共有する場は以前にも増して貴重なものになってきている。

「上内田 WeekEnders」は今後もモノづくりのワークショップなど様々なイベントを企画している。興味を持たれた方はどなたでも参加できるのでホームページをチェックして欲しい。

「上内田 WeekEnders」の
今後のイベント情報はこちら



特集 2

「あの家」のその後。

The state of that house afterwards.

早いもので本誌「TRUNK」も7号目を迎えました。

私たちエフ・ベースが目指しているのは、住む人が、「心から楽しい
と思える暮らし」を実現するための住まいづくり。

それは即ち、住まい手が「自らの手で暮らしをカスタマイズしてい
ける、自由度の高い住まい」を意味しています。

今回は、そんな自分たちの目指す住まいづくりを再確認する意味で、
これまでに本誌で紹介させていただいたお客様の家の「その後」を
ご紹介させていただくことにしました。

「あの家」のその後。…… 01

6年目の五右衛門風呂

掛川市・岩田邸 / 2015年完成

自宅の完成から6年後の2021年6月
に敷地内に完成した五右衛門風呂に
つかる住まい手の岩田さん。西側に
向かって開いているため、夕暮れ時
には木々の向こうに美しい夕日を見
ながらお湯を楽しめる。

P8 ~ P17

photo: KENICHIRO KAWABATA

※お客様から提供写真あり

text: YUSUKE KUBOMI



「家の敷地内に五右衛門風呂をつくりたい」という福岡からのお客さんが見学に来た時の様子。家の中ではなく外にあるテント小屋「GOOD-TIME PLACE」で楽しめる岩田邸は、初めて訪れる人も気負わずにリラックスして過ごせる

欲しかった「人をもてなす」ための最高の環境が手に入った。

2015年にエフ・ベースで自宅を新築した岩田さん、新築当時は、庭をどう使うのがいいのか決めかねていたそうで、敢えてそのままにして暮らしながらアイデアを練ることにした。

それから6年が過ぎ、庭の使い道を改めて考えた時、日頃から来客も多く、自分がやりたいことは、人を招いてこれまで以上に楽しく過ごせる場所をつくることだと考えるようになった。



薪を準備して沸かす作業も楽しみなのだそうです



提案時のイラスト。東側に露天風呂。西側はコストコテントを利用した GOOD-TIME PLACE（屋根付きのダイニング）

そんな理由から、「庭にファイヤーピットをつくらう」と考えていた岩田さんが、エフ・ベース代表の丸山に紹介された「暮らしのプロ」DWELLの川畑さんから驚くような提案を受ける。それは「お庭に、夕陽を見ながら入れる五右衛門風呂をつくりましょう」という内容だった。

その提案内容に惚れ込んで完成したこの場所を岩田さんは「69garden（ロックガーデン）」と名付けた。完成してからは、来た人に喜んでもらうための設えや料理を楽しみながら研究している岩田さん。



1人の時間も、以前より充実して過ごせるようになった



ドームづくりのワークショップをした時の一枚



皆でお酒と食材を持ち寄れば、最高の食卓が出来る



2年ぶりに開催の地元のお祭りのお昼休憩の場所としても利用された



昼間、気持ちよく充電できたこともあり夜の祭りでは大盛り上がりできたそう



友人家族との夏休みの楽しい時間



なんと「69garden」のオリジナルTシャツまでつくってしまった



初めて訪れる人はテンション上がりまくります

「おもてなし」の気持ちが溢れるこの場所に訪れるお客さんの反応は当然上々で、「お店で飲むよりもここの方がいい」とか「旅行に行くよりここに来た方が楽しめる」など嬉しい言葉をいくつもいただいたそう。最近では評判が評判を呼び、「一度行ってみたい」と言われることや「知り合いを連れて来たい」とお願いされるこ

とも増えてきた。「人をもてなす」という岩田さんの目標は、当初の想定以上に実現できているようです。

岩田さんの家の写真を
もっと見たい方はこちら





趣味の自転車をしまうための倉庫を依頼するつもりが、キッチン付きのアウトドアリビングをつくる話に発展したという若杉さんの「GOOD-TIME PLACE」。
1人で過ごすにも、皆んなで過ごすにも最高の場所に仕上がった。

「あの家」のその後。…… 02

家族と寄り添う GOOD-TIME PLACE

掛川市・若杉邸 / 2014 年完成



当初の目的だった自転車の収納スペースはGOOD-TIME PLACEの隣につくった。オレンジの引き戸は完成当初はなかったが、後から取り付けた。以前に比べて格段に自転車の収納や出し入れがしやすくなり、台数が増えてしまったのは嬉しい誤算だ

趣味を楽しむための、「大人の秘密基地」

若杉さんが、もともと友人だった丸山が代表を務めるエフ・ベースで家を建てたのは2014年。

若杉さんの趣味は、1980年代のクロモリバイク。自らを「ビンテージバイク沼の住人」と呼ぶほどにハマっている。



もともと自転車はこうして倉庫にしまっていたが出し入れが億劫だった



提案時のイラスト。西側はアウトドアキッチン「GOOD-TIME PLACE」。東側は自転車収納や洗濯物干しなど多目的に使える

家が出来てからは家族も一緒に自転車を楽しむ機会も増え、自転車のガレージをつくりたいと丸山に相談した。

そうして、丸山から「面白い人がいるから」と紹介されたDWEELLの川畑さんによって提案されたのが、リビングの掃き出し窓から繋がるウッドデッキのあった場所に屋根付きのダイニングキッチン&収納スペースをつくるという上のイラストの計画だ。

提案を受けた時は100%意味を理解できていなかったかもという若杉さんだが、「何か面白そう」という予感が働き、依頼することにした。

完成後、このGOOD-TIME PLACEは家族で週末の食事を



完成時の写真。もともとそこにあったかのように馴染んでいる



千葉房総で開催されたビンテージ自転車の祭典「FERRO MARIEMONTI」にて



ビンテージバイクにハマり過ぎてバイクを運ぶ車も年代を合わせるためにクラシックカーに乗り換えてしまったのだそう

楽しんだり、家族が友人を連れてきて気兼ねなく食事と会話を楽しんだりする場所として大活躍。更に若杉さんにとっては、1人でゆっくりと仕事や趣味のことを深く考えながら晩酌ができる場所が手に入ることになり、「暮らしが180°変わりましたね」というほど。

仕事と趣味を100%楽しむための秘密基地を手に入れた



GOOD-TIME PLACEにて、ピートの効いたシングルモルトと燗製機で大人の「燗会」



ビンテージライドという共通の趣味でつながる友人たちと。皆さん絵になってる！



お酒の美味しさもこの空間があるからこそ更に引き立つ

若杉さんは、今日も自宅のGOOD-TIME PLACEでスコッチを片手に、次を買う自転車の妄想を膨らませているかもしれない。

若杉さんの家の写真を
もっと見たい方はこちら





「あの家」のその後。…… 03

楽器演奏とバイクを楽しむ家

袋井市・田中邸 / 2015 年完成

自宅の GOOD-TIME PLACE をつくる際の参考にするために訪れた、東京都現代美術館で開催の「ジャン・ブルーヴェ展」にて。
左から、大工の藤江さん、田中さん、エフ・ベース丸山

田中さんが防音室のある自宅をエフ・ベースで新築したのは 2015 年のことだ。

以前、「TRUNK」の取材で伺ったのは 2020 年の夏。その頃はコロナ禍の最中で、家で思いきり楽器演奏を楽しむ様子や、家でバイクいじりを楽しむ様子を取材させていただいた。テレワークが普通になってきた頃で、他の部屋から隔離される防音室はテレワーク部屋としてもかなり重宝しているという話なども印象的だった。

田中さんの住む袋井市では毎夏、花火大会が盛大に行われており、会社の同僚を招いて皆でデッキで飲みながら花火を楽しむのが恒例になっている。前回の取材後、そんな花火から話が膨らんでいき、デッキを GOOD-TIME PLACE にして、より快適に花火鑑賞を楽しめる場所にしようというアイデアが急浮上。

そうして DWELL の川畑さんの協力を得てできたプランは、現在のデッキを遠くを見渡せる小屋に大



入口に防音専用の扉を 2 枚使った、思い切り楽器演奏に打ち込める防音室



毎年、会社の同僚と自宅デッキから花火を楽しんでいる



リビングの隣に景色を見渡す屋根付きの GOOD-TIME PLACE を・・・という当初の計画

胆に変えてしまうというかなり斬新な計画。(上のイラストを参照)

しかし、その後も打ち合わせを断続的に行っていく中で、田中家の趣味に変化が現れてくる。田中さんと奥様が勤める会社で MTB のクラブが出来、自分たちで森を開拓して MTB のコースをつくるというプロジェクトが発足。この活動を通じて、家族全員で毎週末、コースの開拓作業と MTB の練習に励むようになった。



MTB に乗る田中さんの勇姿

そんな中で、GOOD-TIME PLACE に求める要素も、自転車の収納や出し入れのしやすい小屋であることや、MTB 仲間と練習後に楽しめる場所であることに比重が移ってきた。そうして生まれたプランを CG にしたものが右のイラストだ。

先日は、このプランで目指している「簡素でいて機能的かつスタイリッシュな小屋」のイメージを膨らませるために、東京都現代美術館で開催されていたフランスの建築家／デザイナーのジャン・ブルーヴェの展示を見に行ってきたそう。



現在の GOOD-TIME PLACE の計画

この小屋が完成後、田中家の趣味を支える場所として、どんな物語を紡いでいくのか、今から楽しみにしています！

田中さんの家の写真を
もっと見たい方はこちら



遠州灘の海の恵みと、こだわり地鶏

呑楽炉 (のらくろ)

素材のもつ旨味を味わい尽くす

「呑楽炉 (のらくろ)」では、毎日、夕市場から新鮮な魚介を仕入れ、それぞれの素材に合った調理方法を見極めて、ご提供いたします。

和食店で経験を積んだ板長が腕を振るう、季節ごとの旬の素材の旨味を活かした味わいをぜひご堪能ください。

旨い日本酒・地酒あります

静岡の地酒を中心に、全国各地の選りすぐりの日本酒を常時20種類以上取り扱っています。フルーティーで飲みやすいものから、米の味わいが感じられるしっかりとしたものまで幅広くご用意。美味しい料理と合わせてお楽しみください。

〒436-0093 静岡県掛川市連雀 2-21
(掛川駅より徒歩約5分)

☎ 0537-28-9698

【営業時間】 ※カード利用可 【定休日】
17:00～0:00 (L.O.23:00) 毎週月曜日



プレゼントのお知らせ

エフ・ベースの家づくりの考え方を
知っていただくために。

書籍「暮らし上手の家づくり」
(エクスナレッジ刊・定価 925 円 + 税)

をプレゼントしています！

(※在庫が無くなり次第、終了となります)

こんなことが学べる本です

- ・「間取り＝壁」の呪縛から自由になろう
- ・スケルトンとインフィルを分けて、空間を自由につくる
- ・光熱費をかけずに 1 年中快適な家 etc...

プレゼントのお申込みはこちらからどうぞ！



ブリーダー・ドッグサロン・しつけ教室・犬の保育園・お泊まり

口笛

兄妹が再会できる。いつでも遊べる。がコンセプトのブリーダー

口笛は母犬と仔犬と一緒に見ることができ、将来の姿を想像できます。
暮らしているワンちゃんは日中、運動場で走り回ったり、他の犬と遊んだり、ケンカしたり、自由にストレスフリーな環境で育っています。
初心者の方でも安心して愛犬と暮らせるようしつけ教室でサポートします！
新しい飼い主様に引き渡した後も定期的に兄妹みんなを集めさせていただき、遊んだり、母犬と対面したり、基本のしつけを学んだりする事ができます。
当店の仔犬はストレスを与えないようにするため、ショーケース展示はしていません。兄妹や母犬とのんびり生活しています。
一日中トリミングのご予約が入っています。
仔犬観覧、当店のご説明をさせていただく際には「ご予約が必要」です。

〒436-0019 静岡県袋井市浅羽 4328 【トリミング】
10:00～17:00 (時間外営業あり)
☎ 090-1567-1136
dogkuchibue.com
【定休日】
無し (無休営業)
【初めてのお客様ご案内】
9:00～15:00 (冬季)～17:00 (夏季)
【仔犬観覧 (仮予約済)】
9:00～10:00 17:00～18:00
【保育園】
7:00～19:00



TRUNK の置いてあるショップ

【掛川市】

日本酒おでん 樹 (おでん)
キウイフルーツカントリー JAPAN (観光農園)
きたがわ動物病院 (動物病院)
Quelque Chose (木工雑貨・家具)
SAM'S CAFÉ (カフェ・雑貨)
サンゼン (スーパー)
しばちゃんランチマーケット (カフェ)
snygg (カーテン・雑貨)
旅とカレーと音楽の店 JAN (カレー)
呑楽炉 (居酒屋) →※左ページで紹介
ハウンドドッグ (ドッグサロン・ホテル・販売)
術はなまど本多花店 (生花)
Funny farm (カフェ・バル)
POWAPOWA (パン・コーヒー)
MEN'S SALON BE-NATURAL (ヘアサロン)
WOMAN & MENS Beauty base Sola (ヘアサロン)
ペットハウス ラフォーレ (トリミング・販売・グッズ)

【袋井市】

犬の美容室 ココロネ (ドッグサロン)
犬の美容室スタイル (ドッグサロン・ホテル)
Café & Bakery げんらく (パン・カフェ)
CAFÉNo.iE (カフェ)
口笛 (ドッグサロン・ブリーダー) →※左ページで紹介
Dog Salon merry (ドッグサロン)
菜里Hana Club (フラワーショップ)
ニシオ自販機 袋井店・磐田店 (自動車販売)
Hair freety (ヘアサロン)
Monte Pasto (イタリアン)

【磐田市】

R&Company (パン・カフェ)

【菊川市】

魚定 (鮮魚・惣菜・仕出し)

